

こぶし だより

働こう障がい者も
SSKW
働けるんだオレたちも



クロネコヤマトメール便 頑張って配達しています

CONTENTS

- ① トピックス2P~3P
- ② 特集「主任会議～発展は矛盾から～」4P~5P
- ③ 《Pick up》第1弾 総務・企画部です!!6P
- ④ サポートーズ7P
- ⑤ アドレス・編集後記8P

No. 340

2010
6

トピックス

Topics

「ぶしの会」それぞれの現場から

きょうされん栃木支部総会

私たち抜きに私たちのことを
決めないで!

きょうされん栃木支部総会が五月一五日(土)とちぎ健康の森で開かれ、代議員・オブザーバー含めて多数の参加がありました。今回は、①議案の提案・採択、②「制度改革」に関する学習会、③「ねがいを新法に」討論会が行われました。

①議案の提案・採択

前年度の活動報告・会計決算、今年度の活動計画・会計予算などが話し合われました。

特に活動計画では、「利用者本人部会であるつばさの会の活動は活発に行われているが、きょうされんは事業所が中心となっているため、今後は経営管理者の学習会を増やし、連携を強めていきたい」との話がありました。

②「制度改革」に関する学習会

全国きょうされんの常任理事を招き情勢報



きょうされん栃木支部総会にて、議決す!!

告や政策提言をしていただき、学習会を行いました。

応益負担の違憲性を問う自立支援法違憲訴訟を行ってきた結果、国は「速やかに応益負担を廃止するとともに、平成二五年八月までに障害者自立支援法を廃止し、新たな福祉法制を実施する」との基本合意文書に国が調印したため、現在、きょうされんでは新法への考え方を話し合っているところです。

そこでは、今後の制度改革にあたり、障がいのある一人ひとりのニーズを基本とし、

「権利条約」を最大限に尊重していきたいということを基にして考えています。

きょうされんの考え方や、障がい者を取り巻くリアルタイムの情勢など、興味をもたれた方はぜひ、きょうされんホームページ・TOMO (<http://HYPERLINK> "<http://www.kyosaren.or.jp>" <http://www.kyosaren.or.jp>) をご確認ください。

③「ねがいを新法に」討論会

「自己実現」「はたらく(一般就労・高工賃)」「くらす」をテーマに、活発な討論が行われました。その一部をご紹介します。

《自己実現》

全国利用者部会役員「利用者の自治会活動・本人活動などの参加を保障してほしい。」

職員「職員サイドでも可能な限り対応したいと思いますが、一作業所の職員だけでは多数回ある活動に対応できない場合も出てくるかと思っています。法人内で助け合いができればと考えています。」

アドバイザー「ヘルパーを利用したり、法人内の職員を研修として利用者の本人活動のサポートに入ってもらったりしてはどうでしょうか。」

《はたらく(高工賃)》

第2けやきの利用者「今まで第2けやきが

けやきのにこにこパンの販売部門を担当していましたが、販売部門もけやきが行うことになりました。途中で販売担当がでなくなつた理由を聞いていません。販売をやめるといふことがどこで決まったのでしょうか。仕事がなくれば収入も減ってしまいます。きょうされんでは前から「私たち抜きに私たちのことを決めないで」と言っているのに。」

自分たちの仕事のことは自分たちも関わって決めていきたいという積極的な発言でした。

総会を通じ、利用者・職員、そして家族や応援していただける方の声を大切にして活動をしていかなければならないと感じました。特に職員の立場では、利用者のみなさんの思いを真摯に受け止め、仕事も運動も共に行っていくことが大切なのだと痛感しました。

(廣本)

県東ライフサポートセンター・真岡

メール便配達から2カ月

県東ライフサポートセンター・真岡でメール便配達の仕事を始めてから二カ月が過ぎました。最初はなかなか家の場所が分からず町

中を右往左往したり、思わぬ土砂降りで配達物を濡らしてしまったりとなかなか思ったようにはいきませんでした。ユニフォームがヤマトからなかなか届かなかったため、配達時に不審者のように見られたことも…。それでも、毎日地図とにらめっこしながら、配達先を確認し、皆で配達ルートを考えていくことで、少しずつ配達のパースも上がり、迷うこともなくなってきました。毎日配達することで、顔も覚えてもらえたようで、「ご苦労さま、ありがとうね」といった声をかけてもらえるようにもなり、なかも「配達してお礼を言われるとうれしい」と喜んだりもしています。

配達を担当しているなかまの意識もだんだん変わっていき、最初は職員に指示されながらついて行くのが精いっぱいだったのが、配達先の名前を聞いただけで「ああ、この家は犬がいる家だな」、「この家は玄関が反対側だからこっちの道からのほうがいい」など、配達先の様子をしっかり覚えて仕事に活かしていけるようになってきました。

中には、仕分けからルートづくり、配達まですべて自分で行い、三〇四〇通程度なら一時間弱で配達に回ってこられるようになった人もいます。その姿に刺激されてか、徐々に自分一人で回ってみたいという声も上がるよ

うになりました。

今の配達数が一日平均六〇〇七〇通、配達区域が真岡市荒町三丁目という限られた範囲での配達ですが、この調子でいけば三丁目に限らず、二丁目や一丁目にも配達区域を拡大していくこともできると思います。これから梅雨に入り雨の中での配達や、逆に暑い日差しの中での配達が増えてきますが、毎日汗をかきながら一生懸命真岡の町中を走り回っていかうと思います。もし町中で見かけたら、「お疲れ様、頑張つて」と声をかけてみてください。その一言が、何よりの励みとなると思います。

(松本)



配達物を袋から出して確認中

= 特 集 =

主 任 会 議

～ 発展は矛盾から～

今回は主任会議に潜入し、今年度より新たに主任になられた8人の職員の皆様に、新年度が始まって2カ月が経過した時点での、各々が抱える課題や今後の展望を伺いました。

これからのこぶしの会を支えていくであろう新主任たちの心中はいかに・・・。

■荒井麻利子主任（けやきハイツ）

職員からも利用者からも苦情が山積みになっていますが、苦情解決シートをつくって、貴重な意見をいただいています。苦情をいただくことは良いことだと感じていて、それによって改善できるし、言ってもらえることで気づくこともできて、良い方向へ行けると考えています。理想は、笑顔で毎日気持ちよく過ごせて、仕事が終わったらほっとできるようなグループホームであるように、みんなで作っていかれたらと思っています。また、新しく移転したときわ荘（宇都宮市若松原）のすぐ近くに民生委員の方がいて、協力してくださるというお話もあるようで、地域の人にも受け入れられていることを感じました。地域の中に拠点ができて本当によかったと実感しています。

■古谷秀太主任（県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」）

昨年に比べて、求人情報が徐々に増えてきています。しかし、求人情報がある中でも適当な求職者がいないために見送られてしまうことがあります。また、圏域内のニーズをもって法人外の就労移行の施設の方と就労支援を具体的に一緒に考えていきたいと考えていて、他の事業所も就労支援の取り組みが少しずつ具体的になってきているのを感じています。職域開拓の部分で、他機関と連携をしながら進め、それとともに、企業に紹介できる人をどんどん開拓していかないといけない状況になっています。また、他の就労移行支援事業所との結びつきを強くしていったら、就労移行支援のうまい循環システムをつくって社会に送り出す仕組みを広げていきたいと思っています。

■松本裕生主任（県東ライフサポートセンター「真岡」）

今まで居場所的な事業所として利用されてきた方が多かったのですが、地域活動支援センターから就労移行支援と就労継続支援B型の事業に変わったことで、働くための日課をつくり、作業と休憩の切り替えを、環境を整備することで進めているところです。それでも、利用される方のニーズは様々であり、利用者によって働き方は違いますが、今年から始まったメール便では、一人で一通りの仕事をこなせる方も出てきました。現在、県東真岡としての授産収入は少ないため、利用者の働きぶりに見合った工賃をお渡しすることができていないので、一人ひとりの頑張りを工賃としてみなさんに還元させてあげたいです。

■枝雅紀主任（セルフ・みらい）

新年度になり職員体制も大きく変わったことで、ここにきてようやくスタートラインに立てそうな状況にあります。そうした中で、職員間の連携を今まで以上に密にとっていかないといけないと感じています。また、利用者一人ひとりの課題を見つめ直すいい機会にもなり、職員自身が余裕をもてていないと、利用者本人のこともそうですが、家族の方の気持ち

に寄り添えないことがありました。一職員の業務が多く、日常の事業所の業務以外に、法人スケールの業務を担う職員その人だけでは法人業務の課題の解決が難しく、法人から大筋をつくってもらった上で、職員に渡していただかないと、職員がつぶれてしまうのではとの懸念があります。



■青木麻依主任 (第2けやき作業所)

工賃収入が、昨年度まで行っていたパン販売を行わなくなったことで、かなり苦しい現状ですが、7月から始まるにこにこ弁当の販売やヤマトのメール便の仕事で巻き返しをしていこうとしているところです。利用者支援については、就労支援は一つ一つの事柄を整理して、着実に進めていきたいと思っています。また、主任になったことで、所長との橋渡しをしながら進めていけるようにしたいし、自分から周りの相談にのってあげられるようになりたいと思っています。

■中村慶彦主任 (けやき作業所)

最近のけやき作業所は去年に比べて、職員の帰りが早くなっている気がしています。職員が早く帰ることはとてもいいと感じています。その理由としては、日中の時間に事務の作業を行う職員が増えたことが考えられます。そのことで、利用者に関わる時間が減ってしまうことが自分としてはとても残念に感じっていますが、そうしなければ事務の作業を勤務時間に終わらせることができないことを考えると、その時間を利用者の支援時間にあててくださいと言えないことに葛藤を感じることもあります(自分はその空いている時間をできるだけ利用者支援の時間に使っているだけのことなので)。今でも支援の記録や、それ以外の業務を勤務時間外に行っている職員もいます。時間内に終わらない業務も課題なのだと考えています(とくに残業が多い業務は、きょうされん、自治会、家族会、後援会の担当者ですが、いずれもこぶしの会としてはとても重要な業務だと思います)。今の自分は主任という立場でこういった課題を感じてはいるものの、現場の仕事に追われてしまい利用者全体に目が届かなくなってしまうことや、その課題の改善に取り組むことができないことに不安を感じています。

■大久保愛主任 (こぶし作業所)

育児の関係で仕事をできる時間が限られています。仲間の支援に関しては職員の工夫次第でより良い方向に改善できるだろうと考えていることもありますが、その準備ができません。また、困っている職員の話を聞いてあげる時間をなかなかもてないことが現在の課題です。主に、生活介護と生産活動の二つに大きくは日中活動が分かれる中で、双方の現場の支援が見えにくいのも課題になっています。

■廣本佳奈子主任 (こぶし作業所)

今年の目標は、「①生産活動を軌道に。②就労移行。③利用者も職員も前向きに。」です。こぶし作業所が移転し、新たにパン事業とお弁当事業が始まるので、工賃アップのためにも生産活動を軌道に乗せたいです。就労移行については、実績をつくっていき、活気のある就労移行を目指します。また、集団として、言いたいことを言えたり、言われたことに素直に応えられるような関係をつくっていきたいです。

ぴっくあっぷ PickUP

第1弾 総務・企画部です!!

総務・企画部は、こぶしの会の事業経営を一体的、組織的に進める中核として位置づけられている部署です。各部・各事業所と連携調整を図りながら、会計事務や総務事務を本部で一本化し、たとえば、財政課では、財務状況の迅速な把握により計画的な資金計画で事業展開をしていく。そのためのソフト面、ハード面の整備をしつつ、日々の業務も軌道に乗せるため頑張っています。

また、総務・企画課では法人内の情報の伝達と集中の一体的システムをどう作っていくか。これに

ついては、現在、専門家の援助をいただき、まず、内部ホームページの立ち上げとその活用がどうしたらうまくいくのかということに着手したところです。また、文書の様式をどう統一していくかなど具体的にはもっと細かでたくさんの仕事があります。

新年度の事業が開始となったものの、所属職員は決算や新年度の異動のための仕事を抱え、本部へ異動できたのは五月中旬でした。

現在は、決算を終え、異動や移行のための仕事の整理と準備、そして総務・企画部の新たな仕事をするために動き始めたところです。

法人レベルでも事業所レベルでも解決していかなければならない課題が、日々の業務の中から出てきていますが、なかなか応えられない状況ではなく申し訳なく思っています。部自体の仕事も早く軌道に乗せ、課題となっている懸案についても取り組めるようにしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします!

(亀田)



亀田部長

山口財政課長

矢崎書記

吉成総務・企画課長

古橋部長代理は現在、療養休暇中です。みんな、早い復帰を願っています!

こぶしSupporters

サポーターズ

後援会
保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします ～

～ 平成22年度事業計画 家族向け説明会の開催 ～

去る、6月4日午後、芳賀工業団地団地管理センターにおいて、法人内の全家族会を対象に、社会福祉法人こぶしの会平成22年度事業計画説明会を開催しました。参加した家族は4事業所から20人を超え、関心の大きさが感じられました。

説明会は、藤田理事長のあいさつの後、高橋常務理事の報告、質疑応答を交わし閉会しました。

質疑応答の中では、「工賃倍増計画と出ていながら、事業計画を見ても具体的にどうすれば工賃が倍増できるのか全く見えない事業計画だ。」などの率直な意見が出るなど、緊張感あふれた会になりました。

説明会の後は、家族会から、理事長とひざを交えてじっくりと懇談したいとの要望を受けて、近隣の居酒屋さんにおいて懇親会も開催されました。

今後も、地域連携室を先頭に法人と家族会の連携を具体的に強めていく予定になっています。

(高橋)



社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 ☎321-0126 栃木県宇都宮市茂原町837-1
・就労移行支援事業 TEL 028 (653) 1020 FAX 028 (688) 1121
・就労継続支援B型事業 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
・生活介護事業
- 障がい者生活支援センター こぶし ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
・在宅障害(児)者の相談・支援 TEL 028 (613) 5703 FAX 028 (666) 6128
E-mail kobushi-sw@tenor.ocn.ne.jp
- こぶしのときわ荘 ☎321-0139 栃木県宇都宮市若松原2-6-8
・知的障害者ケアホーム TEL 028 (653) 1581
- くるみ ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
・知的障害者ケアホーム TEL 028 (664) 0435
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
・就労継続支援B型事業 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
・生活介護事業 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
・日中一時支援事業
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
・就労移行支援事業 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
・就労継続支援B型事業 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
「ほっとCHA」 TEL 090 (7820) 9165
・地域活動支援センター
- 県東ライフサポートセンター「真岡」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
・就労移行支援事業 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (85) 8055
・就労継続支援B型事業
- ホームひまわり ☎321-3321 栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢字下原3932-79
・知的障害者ケアホーム TEL 028 (678) 3592
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
・知的障害者ケアホーム TEL 028 (677) 2879
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1024-1
・精神障害者グループホーム TEL 028 (677) 0790
- コーポ峰 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
・知的障害者ケアホーム
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
・就労移行支援事業 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
・就労継続支援B型事業 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
・生活介護事業
- ぼてっと ☎321-4364 栃木県真岡市長田1-12-5
・知的障害者グループホーム TEL 0285 (80) 1227
- 芳賀地区障害児者相談支援センター ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
・在宅障害(児)者の相談・支援 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
- 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
・障害者の就業相談・支援 TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452
E-mail p-cc-star@ec3.technowave.ne.jp
- 法人本部 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (613) 3707 FAX 028 (666) 6128
E-mail sphb8h99@jewel.ocn.ne.jp

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間 8:30 ~ 17:00)

編集後記

茂原地区へ移転して早数カ月、こぶし作業所パン・弁当ショップ「こぶしカンパニー “にこにこ”」がオープンしました。作業所に併設しており、通常平日10:00~15:00の営業です。オススメは『こだわり食パン(200円)』と『手作り日替わり弁当(500円)』です。配達販売もしております。数に限りがございますので、事前のご予約をお勧めします。おいしいパン・弁当となかまの笑顔でお待ちしております。ぜひ1度見に来てください。(廣本)

編集委員

大塚 秋穂 小林 勇次 菊地 豊 星野 早苗 廣本 佳奈子 森島 知代